

谷沢川分水路事業説明会の議事要旨

東京都は、谷沢川の治水対策として、国道 246 号線、環状八号線、世田谷区道下部にトンネルを設置し、谷沢川の洪水を分水する「谷沢川分水路」の整備を計画しております。このたび、地域の皆様に事業説明会を開催させていただきました。

説明会当日の議事要旨を作成いたしましたので、ご覧ください。

1 開催概要

【第 1 回目】

日時	平成 29 年 2 月 6 日（月曜日）19 時 00 分～20 時 30 分
場所	世田谷区立玉堤小学校体育館（世田谷区玉堤 2 丁目 11 番地 1 号）
参加人数	20 名

【第 2 回目】

日時	平成 29 年 2 月 7 日（火曜日）19 時 00 分～20 時 30 分
場所	世田谷区中町ふれあいホール（世田谷区中町 4 丁目 21 番地 1 号）
参加人数	37 名

【第 3 回目】

日時	平成 29 年 2 月 8 日（水曜日）19 時 00 分～20 時 30 分
場所	世田谷区立瀬田中学校体育館（世田谷区瀬田 2 丁目 17 番地 1 号）
参加人数	13 名

2 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）※上記 3 回の説明会を取りまとめています。

（1）分水路の計画について（1/2）

ご質問・ご意見	都の回答
現在の谷沢川はどの程度の降雨を流すことができるか。 すでに整備済の下水道幹線に貯留しても、洪水は防げないか。	矢川橋下流から多摩川合流部までは時間当たり 50 ミリの降雨が流下できる整備が終了しています。等々力溪谷の上流部の流下能力は概ね時間当り 30 ミリ程度です。 谷沢川上流部の下水道幹線（谷沢川雨水幹線）に加えて谷沢川分水路を整備することで、更なる浸水対策を図ることができます。

(1) 分水路の計画について (2/2)

ご質問・ご意見	都の回答
どのような理由で整備水準を時間当たり 75 ミリの降雨に決めたのか。なぜ時間当たり 100 ミリの降雨にしなかったのか。	整備水準を時間当たり 100 ミリへ一気に高くすると、整備に費用と時間がかかるためです。また時間当たり 75 ミリの降雨に対する整備を行った河川に対しシミュレーションを行った結果、これまでに発生したほぼすべての降雨の浸水被害が解消できることが分かっています。
分水路を整備することによりなぜ浸水被害が軽減するのか。	増水時に谷沢川上流部で本川の洪水を分水路にバイパスさせることにより、谷沢川本川に流れる水の量が減り、浸水被害が軽減します。
谷沢川と多摩川の合流部にある玉川排水樋管が閉まった場合、谷沢川と谷沢川分水路に影響があるのか。	玉川排水樋管は、多摩川の水位が高い時に谷沢川への逆流を防止するため閉鎖しますが、樋管閉鎖時は分水路入り口のゲートを閉じるなど、谷沢川の浸水被害を防止する対策を講じます。
分水路にどのように洪水を取り入れるのか。 また、洪水時に分水路内にどのように水が流れるかを知りたい。	分水路には谷沢川からと下水道幹線から洪水を取り入れます。川からの取水施設として、川に固定堰をつくり、ある一定の水位を超えると取水する仕組みで検討しています。 分水路は取水部と放流部の高低（標高）差を利用したサイフォンの原理を用いた構造となっており、洪水時には自然の力で流下し、放流施設から谷沢川に放流します。
分水路整備後の分水路と河道に流れる水の量を知りたい。	玉川台広場の取水施設で、谷沢川に流れる 10 t の水のうち 5 t を取水し、分水路に流します。 また、下水道の雨水幹線から 45 t の水を取水し、分水路に流し、合計 50 t の水が分水路を流下します。
分水路を整備し放流することにより、多摩川の河床に影響はないか。	多摩川の河床に影響が出ないように、今後対策を検討していきます。
分水路の事業費はいくらか。	総事業費は約 190 億円です。
分水路の耐用年数は。	予防保全型の維持管理を行い、100 年間持たせることを目標にしています。
分水路の耐震性能は。	レベル 2 地震動（想定される最大級の地震動）に対しても機能を保持するものとして計画しています。
分水路のルートはどのようにして決めたのか。	比較検討を行い、道路など公有地を通るルートとして今回のルートを決めました。
洪水の後、分水路にたまった水はどうするのか。	雨が止んだ後に谷沢川に放流し、分水路を空にする計画です。
分水路の合流部下流の安全性は大丈夫なのか。	合流部は時間当たり 75 ミリの流下能力を有しており、計画している流量を流すことができます。

(2) 工事について

ご質問・ご意見	都の回答
環八通り等の、道路上で工事を行うのか。	シールド工法を用いて、道路の地下にトンネルを整備することから、道路上での工事はいりません。
地上部の工事範囲はどこか。	立坑を整備する都立園芸高等学校玉川果樹園と世田谷区立玉川台広場です。
博多のトンネル工事で事故があったが、分水路のトンネルは安全に施工できるのか。	これまでに都市部で多くの実績を持つシールド工法で施工します。また、安全には万全を期し施工します。
トンネル工事により振動や地盤沈下が発生しないか。また、地下水に影響を与えないか。	振動や地盤沈下等を起こさないように施工を行います。また、必要な範囲で、工事による地下水への影響を確認できるように、工事前から工事後にかけて調査を行います。
トンネルを掘る場所の地層について知りたい。	現在は掘削する地層を硬い粘性土と想定しています。今後土質調査を行い、詳細な地層を確認していきます。
トンネル工事による家屋への影響がないか、事前に建物の写真を撮影し確認してほしい。	工事による家屋への調査、工事の時間帯等の詳細については、施工業者が決まり施工計画を立てた上で、工事説明会等で説明します。
工事の時間帯を知りたい。	詳細は今後工事説明会等でご説明しますが、都立園芸高等学校玉川果樹園付近は、トンネルで掘った土を搬出するための、ダンプトラック等が通行する予定にしております。工事用車両の通行時の安全対策については、保育園等へ十分配慮して検討していきます。
工事車両の通行による影響はないのか。都立園芸高等学校玉川台果樹園付近には保育園が新しくできるので心配している。	工事中は広場が使用できなくなる範囲が生じます。また、工事完了後も地上部に施設が設置される可能性があります。工事の開始は平成 32 年から平成 33 年頃を想定しています。詳細はこれから行う設計の中で、世田谷区と協議しながら決めていきます。
玉川台広場は使えなくなるのか。また、広場周辺は、いつ頃から工事が始まるのか。	詳細は今後検討しますが、皆様に施設を見ていただく機会を設け、見学会等を実施したいと考えています。
工事中や、分水路完成後に見学会を実施するか。	詳細は今後検討しますが、ホームページを含め、様々な媒体を通じて公開したいと考えています。
工事の進捗状況を、ホームページなどで公開するのか	

(3) その他

ご質問・ご意見	都の回答
分水路完成までに7年もかかるとのこと、完成までの期間にも洪水が起きる可能性がある。分水路の整備以外に、短期的な洪水対策も取ってほしい。	これまでも、東京都建設局、東京都下水道局、世田谷区の3者で、排水設備や透水性舗装の整備など短期的な対策を取ってきました。分水路が完成するまでの期間も、引き続き対策を実施していきます。
姫野橋下流に水門のような施設があるが、洪水時に施設の所で水が逆流し、水位が上がっているように思うので撤去してほしい。	姫野橋下流は、時間当たり75ミリの計画上、流下能力に支障がないため、現状では施設の撤去計画はありません。施設自体が古いことから、日常の維持管理を適切に行っていきます。
洪水時には護岸天端付近まで水位が上昇することがある。護岸が崩れないか心配である。	分水路を整備し谷沢川本川の水をバイパスすることにより、洪水時の谷沢川本川の水位はさがります。また、護岸の老朽化に対しては、適切に維持管理を行っていきます。
分水路の途中からも、河川の水を取水したらどうか。また、トンネルをもっと大きな内径にしてはどうか。	現在そのような計画はありません。御要望として承ります。